

平成22年 7 ～ 9 月期平均の結果

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	246,566 円		
前年同期比	名目 0.9%の増加	実質 1.7%の増加	
二人以上の世帯は,	284,667 円		
前年同期比	名目 0.1%の増加	実質 0.9%の増加	
単身世帯は,	155,952 円		
前年同期比	名目 4.4%の増加	実質 5.2%の増加	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 0.8%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 0.1%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 4.5%の増加

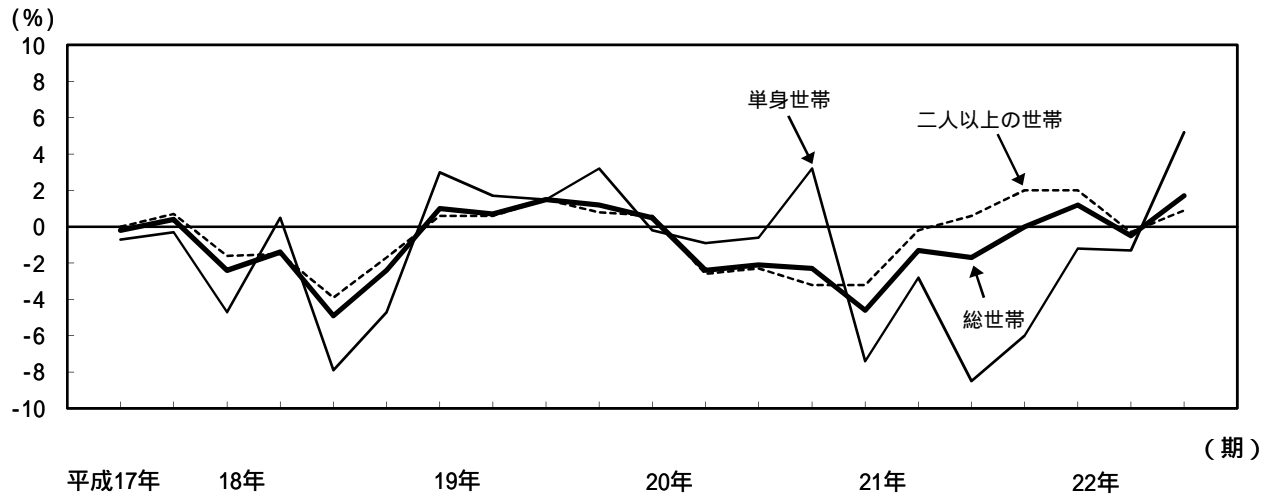
：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

< 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 1.0%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 0.7%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 2.3%の増加
	平均消費性向	77.6	%
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 0.5%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 0.5%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 2.0%の増加
	平均消費性向	78.7	%

消費支出の推移

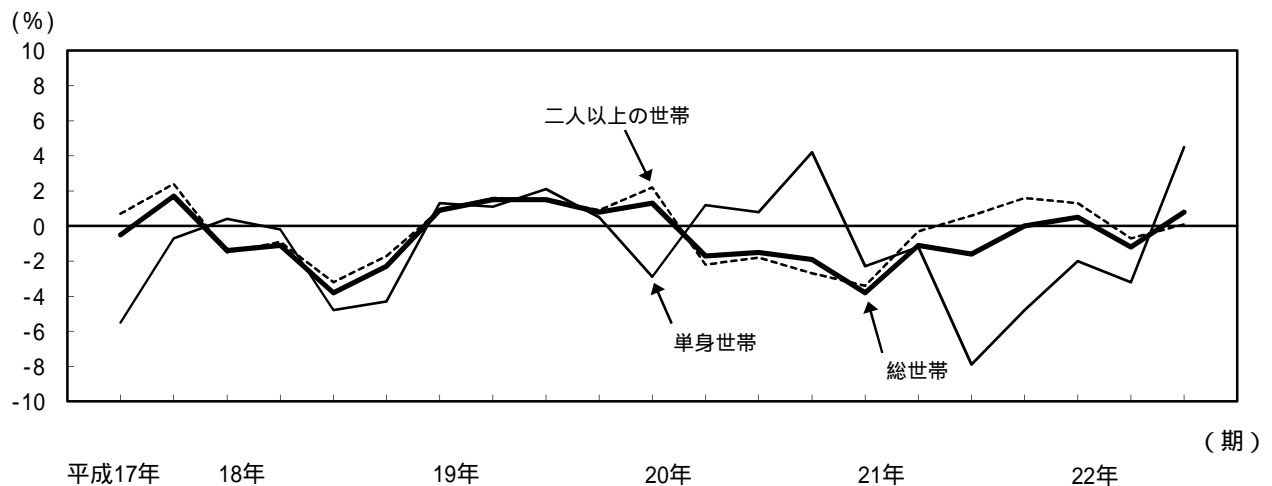
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	平成19年		20年				21年				22年		
総世帯	1.5	1.2	0.5	-2.4	-2.1	-2.3	-4.6	-1.3	-1.7	0.0	1.2	-0.5	1.7
二人以上の世帯	1.5	0.8	0.6	-2.6	-2.3	-3.2	-3.2	-0.2	0.6	2.0	2.0	-0.3	0.9
単身世帯	1.5	3.2	-0.2	-0.9	-0.6	3.2	-7.4	-2.8	-8.5	-6.0	-1.2	-1.3	5.2

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

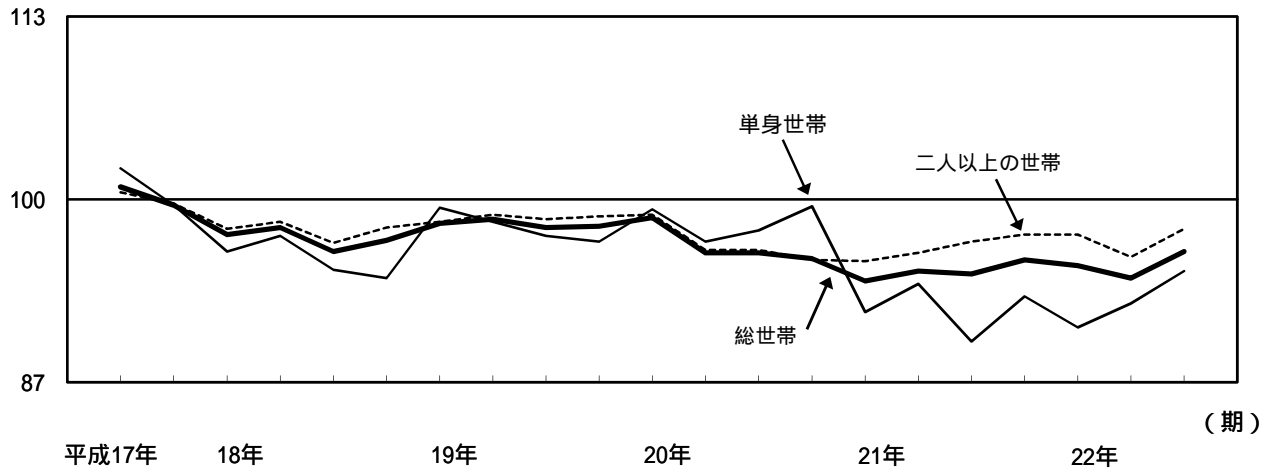


消費支出(除く住居等)	平成19年		20年				21年				22年		
総世帯	1.5	0.8	1.3	-1.7	-1.5	-1.9	-3.8	-1.1	-1.6	0.0	0.5	-1.2	0.8
二人以上の世帯	1.5	0.9	2.2	-2.2	-1.8	-2.7	-3.4	-0.3	0.6	1.6	1.3	-0.7	0.1
単身世帯	2.1	0.5	-2.9	1.2	0.8	4.2	-2.3	-1.2	-7.9	-4.8	-2.0	-3.2	4.5

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

（平成17年 = 100）



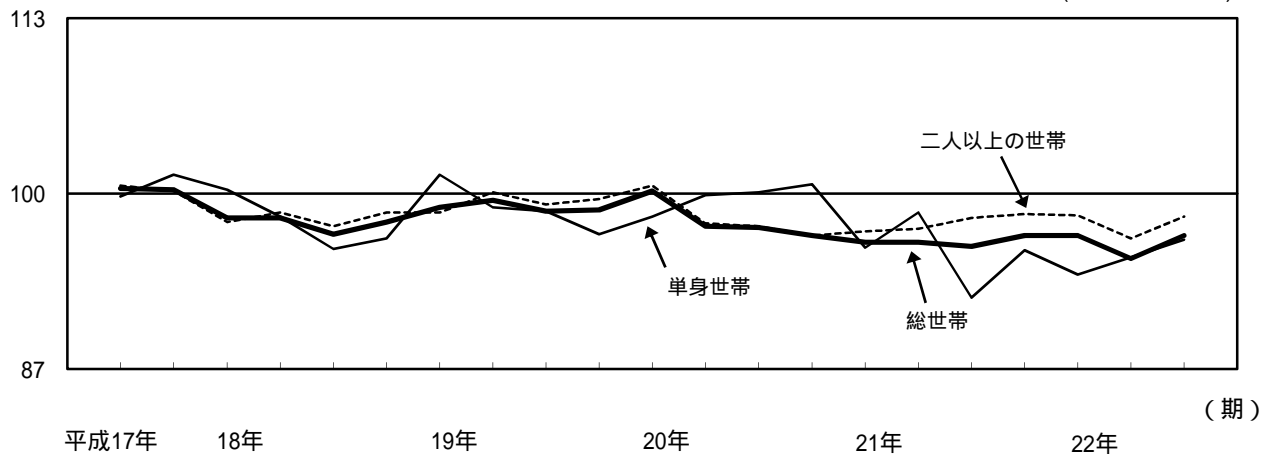
消費支出	平成19年		20年				21年				22年		
総世帯	98.0	98.1	98.7	96.2	96.2	95.8	94.2	94.9	94.7	95.7	95.3	94.4	96.3
対前期変化率(%)	-0.6	0.1	0.6	-2.5	0.0	-0.4	-1.7	0.7	-0.2	1.1	-0.4	-0.9	2.0
二人以上の世帯	98.6	98.8	98.9	96.4	96.4	95.7	95.6	96.2	97.0	97.5	97.5	95.9	97.9
対前期変化率(%)	-0.3	0.2	0.1	-2.5	0.0	-0.7	-0.1	0.6	0.8	0.5	0.0	-1.6	2.1
単身世帯	97.4	97.0	99.3	97.0	97.8	99.5	92.0	94.0	89.9	93.1	90.9	92.6	94.9
対前期変化率(%)	-1.0	-0.4	2.4	-2.3	0.8	1.7	-7.5	2.2	-4.4	3.6	-2.4	1.9	2.5

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は，センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

図4 消費支出（除く住居等）（季節調整済実質指数）の推移

（平成17年 = 100）



消費支出(除く住居等)	平成19年		20年				21年				22年		
総世帯	98.7	98.8	100.2	97.6	97.5	96.9	96.4	96.4	96.1	96.9	96.9	95.2	96.9
対前期変化率(%)	-0.8	0.1	1.4	-2.6	-0.1	-0.6	-0.5	0.0	-0.3	0.8	0.0	-1.8	1.8
二人以上の世帯	99.2	99.6	100.6	97.8	97.6	96.9	97.2	97.4	98.2	98.5	98.4	96.7	98.3
対前期変化率(%)	-0.9	0.4	1.0	-2.8	-0.2	-0.7	0.3	0.2	0.8	0.3	-0.1	-1.7	1.7
単身世帯	98.7	97.0	98.3	99.9	100.1	100.7	96.0	98.6	92.3	95.8	94.0	95.3	96.6
対前期変化率(%)	-0.3	-1.7	1.3	1.6	0.2	0.6	-4.7	2.7	-6.4	3.8	-1.9	1.4	1.4

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は，センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成22年7～9月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	246,566	0.9	1.7	1.7		2期ぶりの実質増加
食 料	58,319	-1.0	-0.8	-0.20	<減 少> 野菜・海藻, 魚介類など	2期連続の実質減少
住 居	17,881	5.1	5.7	0.40	<増 加> 設備修繕・維持	3期連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	16,467	7.1	4.4	0.28	<増 加> 電気代, 上下水道料など	6期連続の実質増加
家具・家事用品	9,423	4.8	9.5	0.35	<増 加> 家庭用耐久財, 家事サービスなど	7期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	8,857	1.5	2.4	0.09	<増 加> 洋服, 和服など	7期ぶりの実質増加
保 健 医 療	10,392	-3.2	-2.6	-0.11	<減 少> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具	3期連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	35,434	6.1	5.7	0.78	<増 加> 自動車等関係費, 通信	2期ぶりの実質増加
教 育	6,676	-10.6	2.8	0.08		
教 養 娛 楽	27,468	-3.3	-1.9	-0.23	<減 少> 教養娯楽サービス, 書籍・他の印刷物など	16期ぶりの実質減少
その他の消費支出	55,649	0.5	(1.3)	(0.29)	<増 加> 諸雑費	10期ぶりの増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[0.89]	自動車購入, ガソリン
諸雑費	[0.62]	葬儀関係費, たばこ
設備修繕・維持	[0.42]	設備器具, 他の工事費*
電気代	[0.41]		
教養娯楽用耐久財	[0.40]	テレビ, パーソナルコンピュータ
家庭用耐久財	[0.34]	エアコンディショナ, 電気冷蔵庫
飲料	[0.16]	果実・野菜ジュース, 炭酸飲料

< 減少項目 >

教養娯楽サービス	[-0.32]	国内パック旅行費
保健医療サービス	[-0.17]	医科診療代, 出産入院料
交際費	[-0.17]	贈与金, 住宅関係負担費
野菜・海藻	[-0.13]	ほうれんそう, ねぎ
交通	[-0.13]	鉄道運賃, 有料道路料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

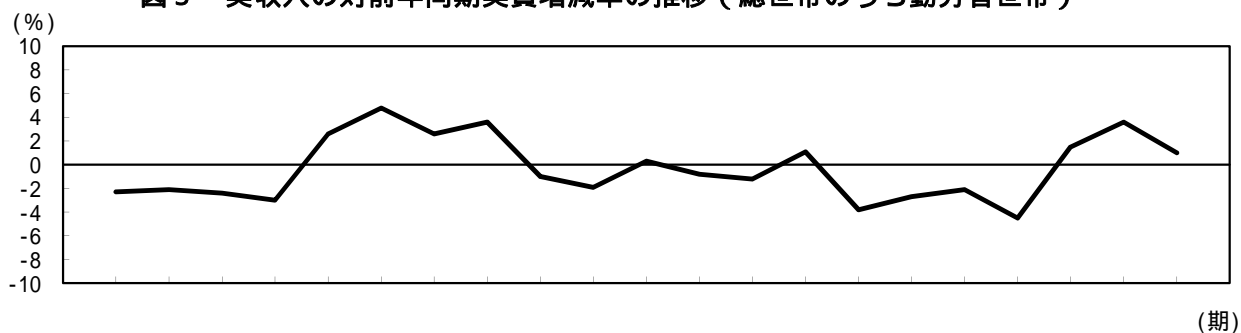
* 「他の工事費」には、「給排水関係工事費」や「外壁・塀等工事費」以外の住宅に関する工事費等が含まれる。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成22年7～9月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	436,756	0.2	1.0	1.0	3期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	368,852	-0.5	0.3	0.29	3期連続の実質増加
定 期 収 入	329,840	0.5	1.3	1.02	3期連続の実質増加
臨 時 収 入・賞 与	39,011	-8.2	-7.5	-0.73	2期ぶりの実質減少
配 偶 者 の 収 入	41,026	2.7	3.5	0.32	3期連続の実質増加
う ち 女 性	40,200	1.3	2.1	0.19	3期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	8,340	30.1	31.1	0.46	2期連続の実質増加
非 消 費 支 出	76,475	1.3	-	-	3期連続の増加
可 処 分 所 得	360,281	-0.1	0.7	-	3期連続の実質増加
消 費 支 出	279,535	1.5	2.3	-	2期ぶりの実質増加
平 均 消 費 性 向(%)	77.6	(前年同期) 76.4	(ポイント差) 1.2		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



平成17年	18年		19年				20年				21年				22年		
	平成19年		20年				21年				22年						
実 収 入	-1.0	-1.9	0.3	-0.8	-1.2	1.1	-3.8	-2.7	-2.1	-4.5	1.5	3.6	1.0				

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（平成22年7～9月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	284,667	0.1	0.9	0.9		2期ぶりの実質増加
食 料	67,556	-1.0	-0.8	-0.19	<減 少> 野菜・海藻, 魚介類など	2期連続の実質減少
住 居	18,019	7.6	8.2	0.49	<増 加> 設備修繕・維持, 家賃地代	3期連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	19,393	6.7	4.0	0.25	<増 加> 電気代など	6期連続の実質増加
家具・家事用品	11,087	2.4	7.0	0.27	<増 加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	6期連続の実質増加
被服及び履物	10,052	-0.8	0.1	0.00	<増 加> 和服など	3期ぶりの実質増加
保健医療	12,145	-6.1	-5.5	-0.25	<減 少> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具	3期連続の実質減少
交通・通信	40,895	5.5	5.1	0.70	<増 加> 自動車等関係費	5期連続の実質増加
教 育	9,464	-10.6	2.8	0.10	<増 加> 授業料等	3期ぶりの実質増加
教養娯楽	31,354	-2.7	-1.3	-0.15	<減 少> 教養娯楽サービス, 書籍・他の印刷物など	5期ぶりの実質減少
その他の消費支出	64,702	-1.6	(-0.8)	(-0.19)	<減 少> 仕送り金, 交際費など	10期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[0.86]	自動車購入, ガソリン
諸雑費	[0.47]	婚礼関係費, 葬儀関係費, たばこ
電気代	[0.41]		
設備修繕・維持	[0.37]	設備器具, 他の工事費 ^{*1}
家庭用耐久財	[0.34]	エアコンディショナ, 電気冷蔵庫
教養娯楽用耐久財	[0.30]	テレビ, パーソナルコンピュータ
飲料	[0.17]	果実・野菜ジュース, 炭酸飲料

< 減少項目 >

交際費	[-0.41]	贈与金, 住宅関係負担費
保健医療サービス	[-0.26]	医科診療代, 他の入院料 ^{*2}
交通	[-0.17]	鉄道運賃, バス通勤定期代
野菜・海藻	[-0.15]	ほうれんそう, さやまめ
教養娯楽サービス	[-0.15]	国内パック旅行費

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

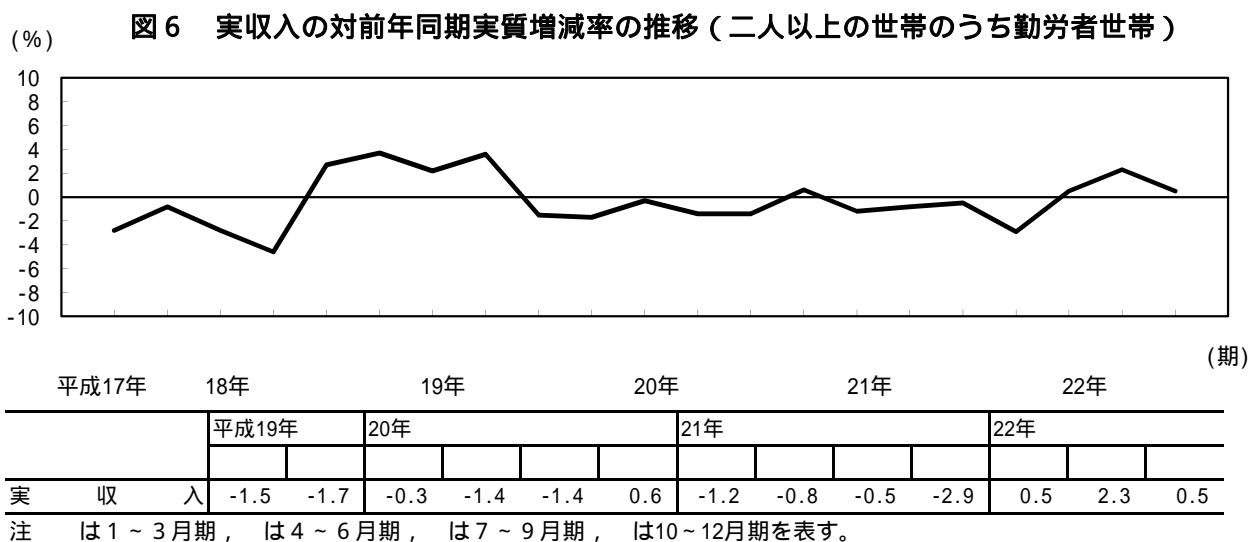
*1 「他の工事費」には、「給排水関係工事費」や「外壁・塀等工事費」以外の住宅に関する工事費等が含まれる。

*2 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（平成22年7～9月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	486,194	-0.3	0.5	0.5	3期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	398,034	-1.0	-0.2	-0.18	3期ぶりの実質減少
定 期 収 入	352,284	0.1	0.9	0.64	2期ぶりの実質増加
臨時収入・賞与	45,751	-8.7	-8.0	-0.82	2期ぶりの実質減少
配 偶 者 の 収 入	55,335	1.9	2.7	0.31	3期連続の実質増加
う ち 女 性	54,221	0.6	1.4	0.15	4期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	11,250	29.3	30.3	0.54	2期連続の実質増加
非 消 費 支 出	84,804	0.0	-	-	
可 処 分 所 得	401,390	-0.3	0.5	-	3期連続の実質増加
消 費 支 出	315,951	1.2	2.0	-	2期ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	78.7	(前年同期) 77.5	(ポイント差) 1.2		



単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（平成22年7～9月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	155,952	4.4	5.2	5.2		7期ぶりの実質増加
食 料	36,351	-1.1	-0.9	-0.22	<減 少> 調理食品, 外食など	2期連続の実質減少
住 居	17,553	-0.7	-0.1	-0.01	<減 少> 家賃地代	2期ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	9,509	9.3	6.5	0.38	<増 加> 電気代, 上下水道料	6期連続の実質増加
家具・家事用品	5,466	18.9	24.2	0.75	<増 加> 家庭用耐久財, 家事サービスなど	2期連続の実質増加
被服及び履物	6,015	12.1	13.1	0.47	<増 加> 洋服, シャツ・セーター類など	5期ぶりの実質増加
保健医療	6,223	13.5	14.2	0.52	<増 加> 保健医療サービス, 医薬品など	3期連続の実質増加
交通・通信	22,444	8.6	8.2	1.13	<増 加> 自動車等関係費, 通信など	2期ぶりの実質増加
教 育	44	-	-	-		
教 養 娯 楽	18,227	-5.8	-4.5	-0.57	<減 少> 教養娯楽サービス, 書籍・他の印刷物など	2期連続の実質減少
その他の消費支出	34,119	11.2	(12.1)	(2.48)	<増 加> 諸雑費, 交際費など	3期連続の増加

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

諸雑費	[1.31]	冠婚葬祭費, 寄付金
自動車等関係費	[1.02]	自動車購入, 自動車保険料（任意）
交際費	[0.92]	贈与金, つきあい費
教養娯楽用耐久財	[0.85]	テレビ, ビデオデッキ
設備修繕・維持	[0.70]	外壁・塀等工事費, 火災・地震保険料
電気代	[0.42]		
家庭用耐久財	[0.38]	エアコンディショナ, 電気冷蔵庫

< 減少項目 >

教養娯楽サービス	[-1.09]	国内パック旅行費
家賃地代	[-0.72]	民営家賃, 公営家賃

- 注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。
 2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成22年7～9月期 - 総世帯）

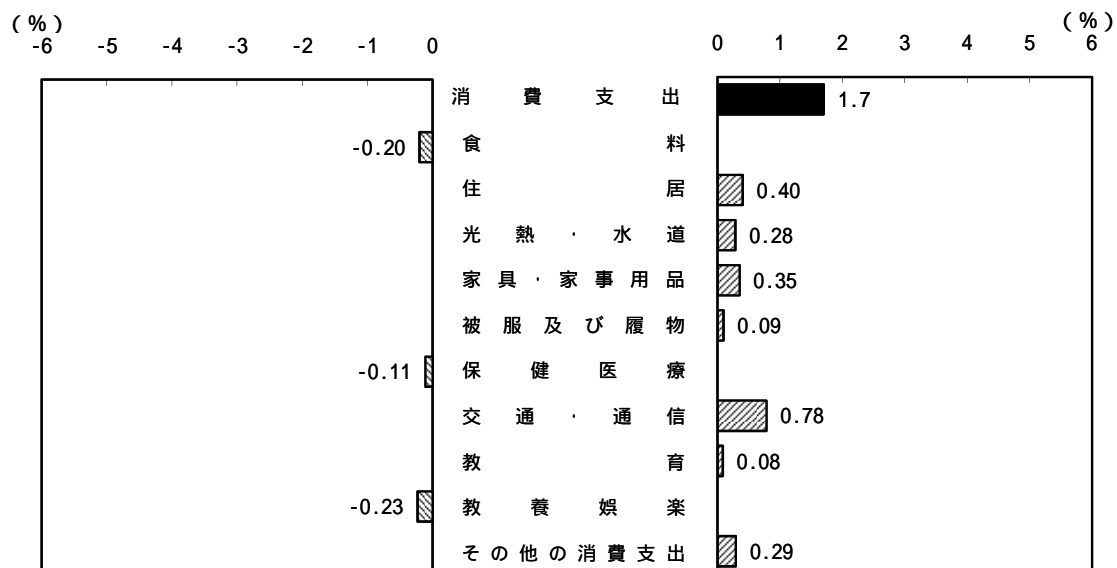


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成22年7～9月期 - 二人以上の世帯）

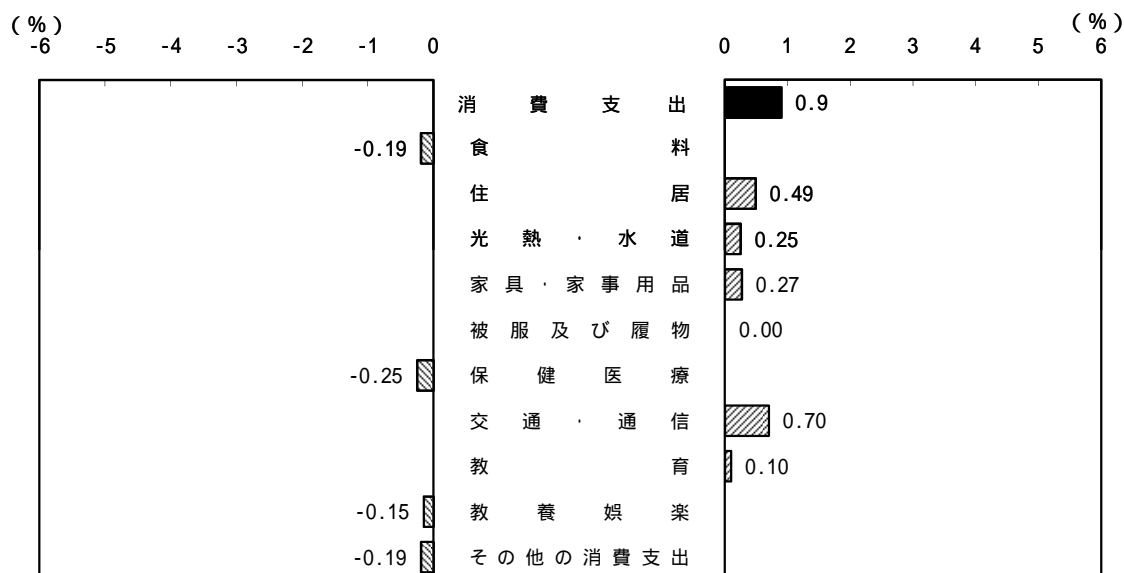
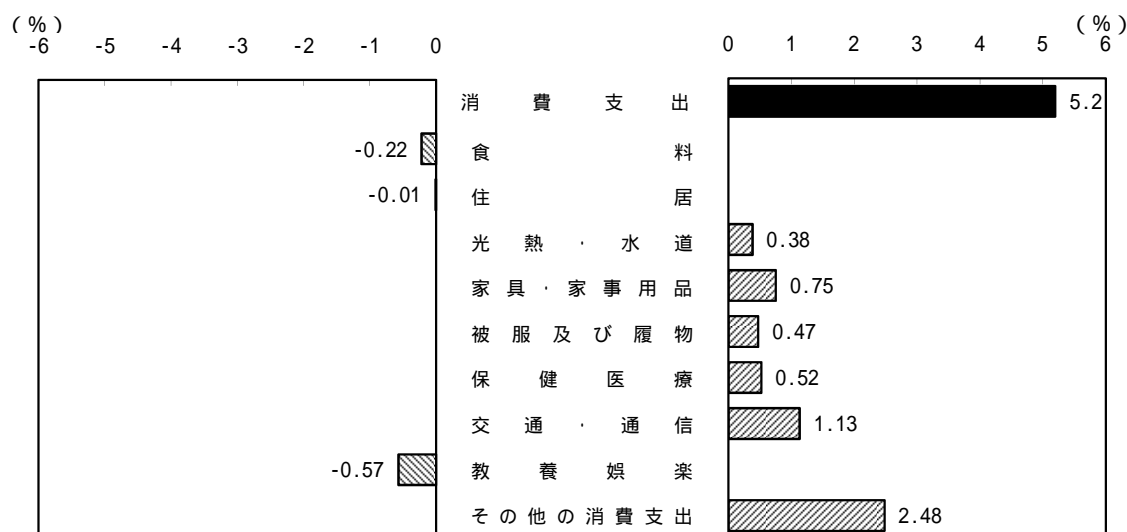


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成22年7～9月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。